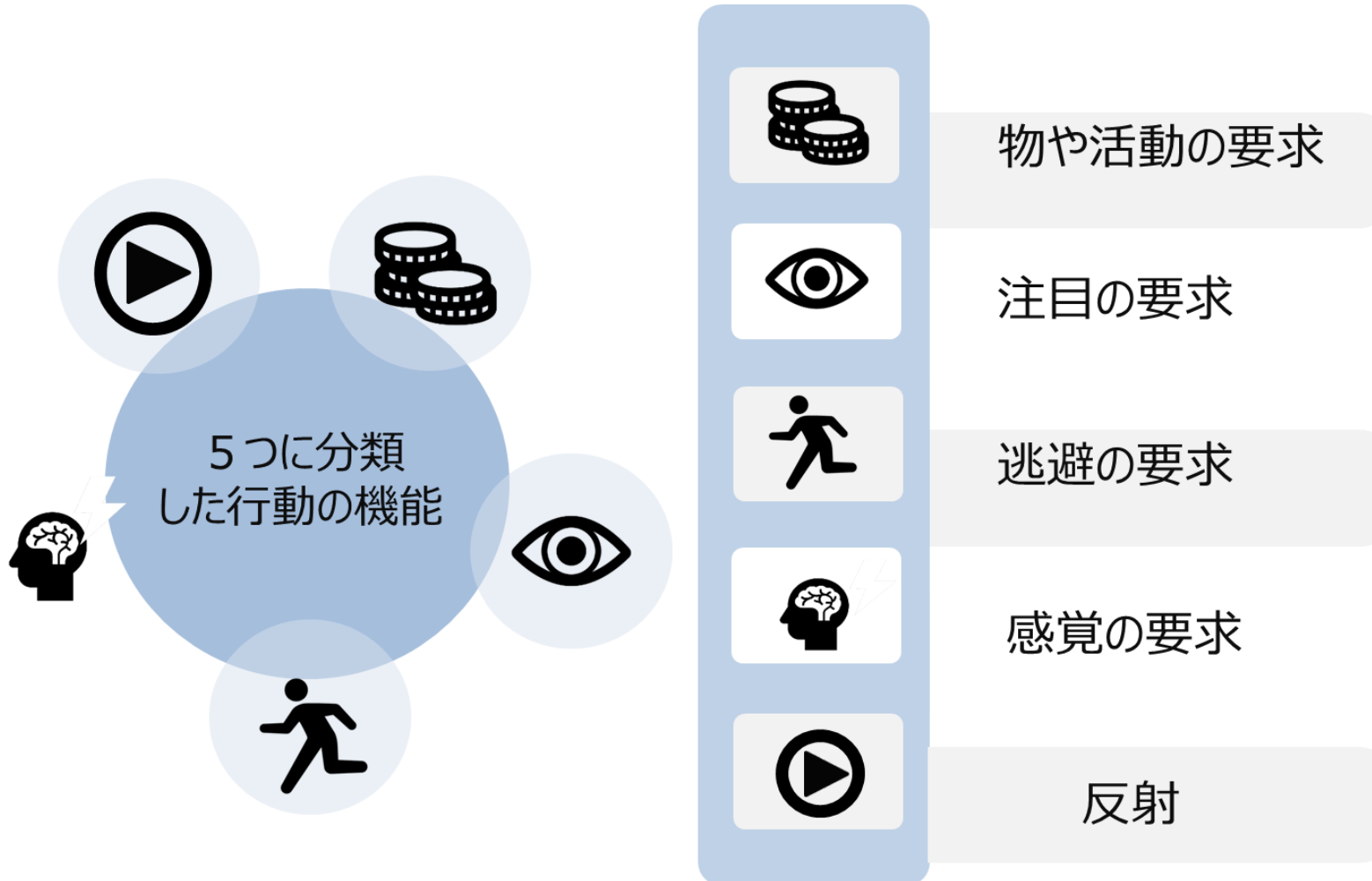


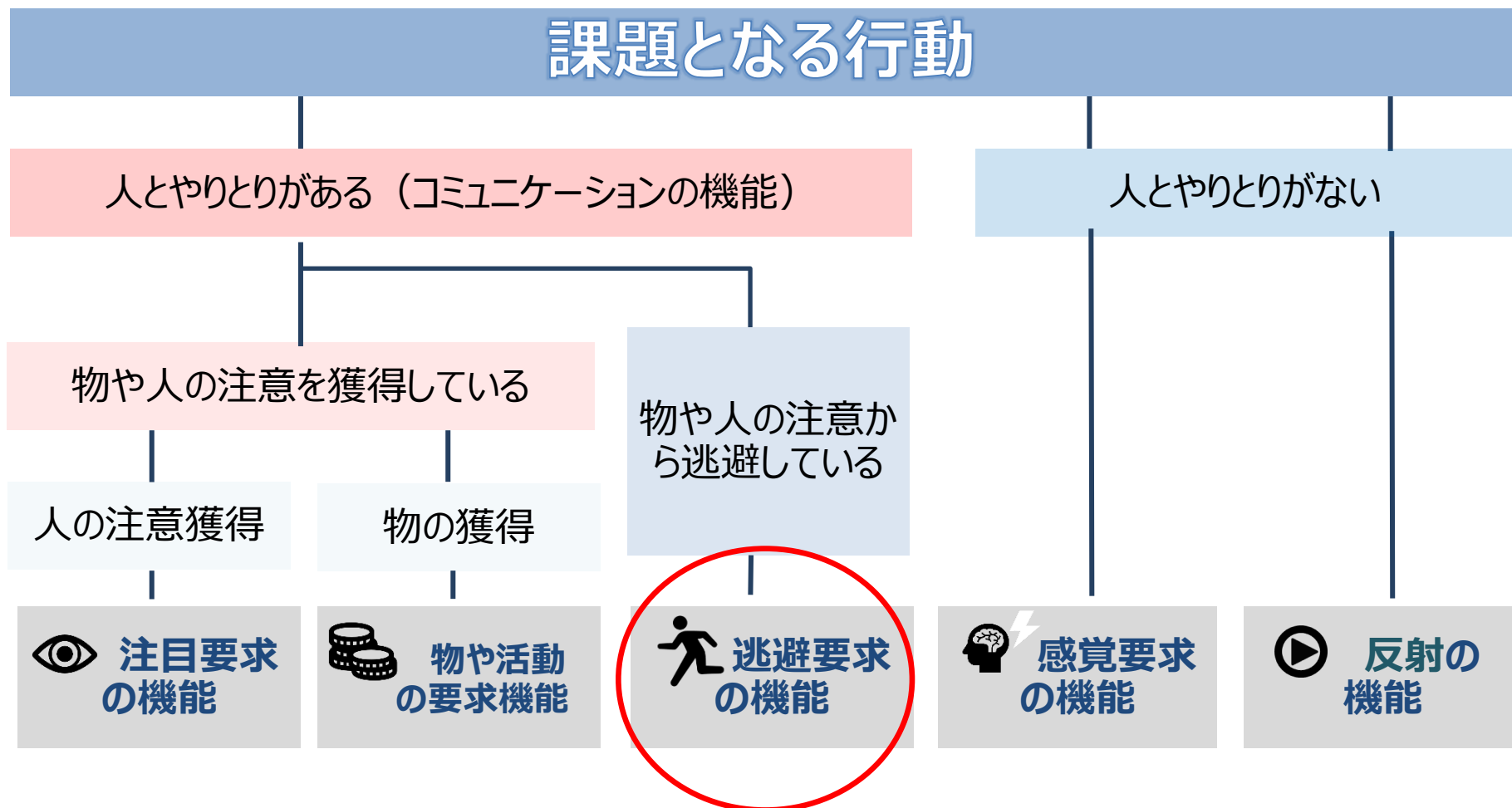
# 手順4. 行動の機能を推定する

## 5つに分類した行動の機能



# ターゲットとした行動の機能を推察する

## 行動問題の機能を推定するフローチャート



## 手順5. ストラテジーシートの作成

### 「ストラテジーシート」とは

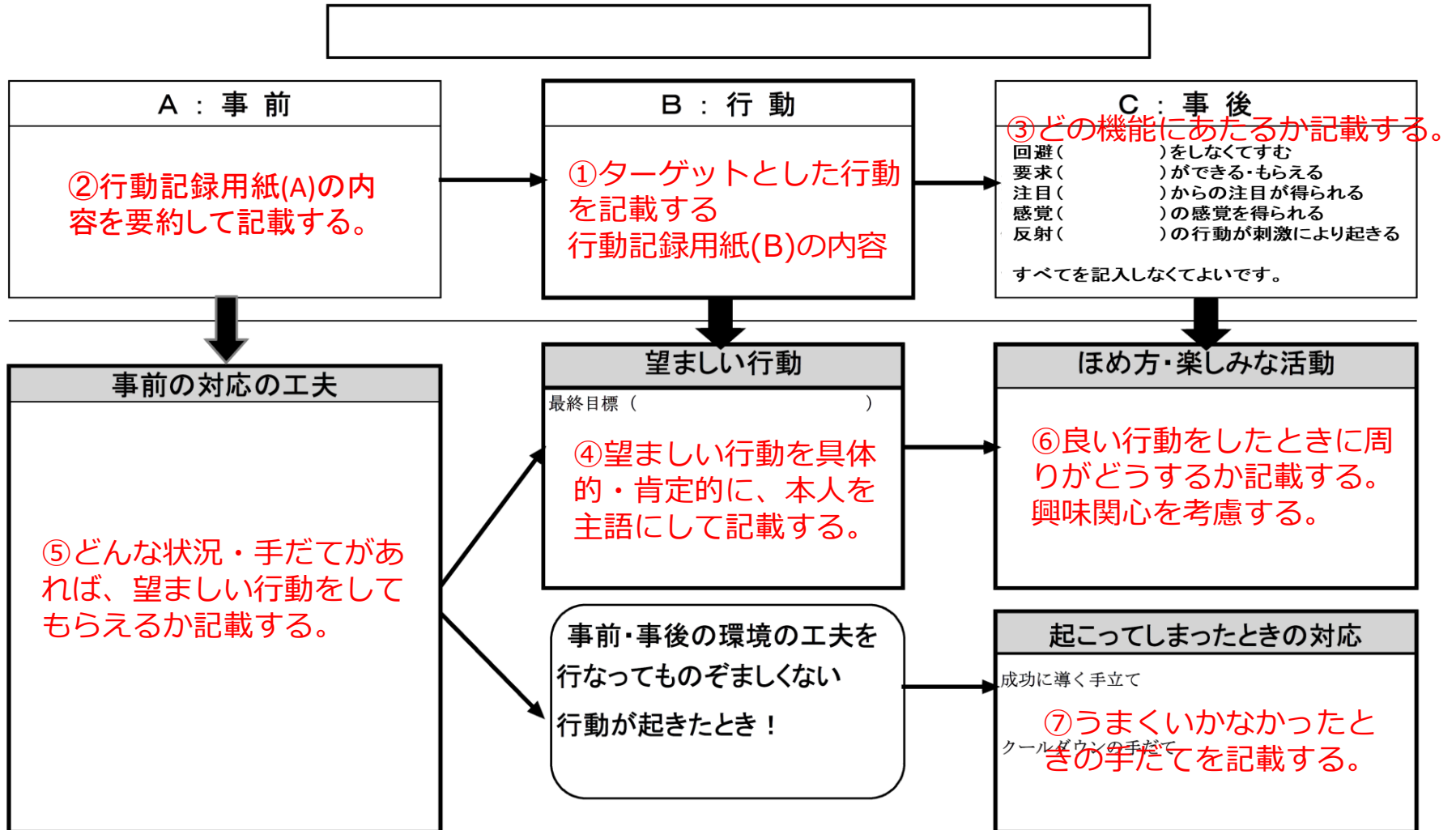
ストラテジー（Strategy）とは「戦略・目的達成のための方策・方法」の意味です。

ストラテジーシートは行動をもとに行動障害の背景を考え、対応策を考えるのに適しています。

ストラテジーシートは、行動への対応をチームで考え共通理解するときに活用できるフレームワークです。

# ストラテジーシート の作成方法

ストラテジーシート ver. 3.0 【記入日 年 月 日】 【氏名 】



# スキャッタープロットによる記録

<観察する行動>

①髪の毛を引っ張る

②突然触る

③いやがることを言う



起こりやすい時間がわかる

起こりやすいパターンがわかる

# 強度行動障害支援アドバンス研修 の取り組みから

# 強度行動障害支援の実践を阻むもの

研修履修者の知識、技術の向上 = 成果ではない  
学んだ事を活かす環境が大切だが阻むものが多い  
アドバンス研修では、活かす環境を重視

- |          |   |                      |
|----------|---|----------------------|
| 共通理解の不足  | → | ミーティング時間の確保          |
| 専門性の不統一  | → | 動画によるミニ研修の実施         |
| 認識のずれ    | → | 具体的な目標設定             |
| 解釈のずれ    | → | 客観的な行動記録             |
| 記録の統一共有  | → | ソフト・アプリによる記録         |
| スーパービジョン | → | 研修リーダーからのネットによるアドバイス |

# 事業所内の共通理解と リーダーシップが職場環境を変える

□ ガバナンスの具体化

□ 管理職の理解と応援

□ 仲間づくり

□ 情報共有システム

– 情報・支援を共有できないと「実行」が困難になる

- プログラムの作成と実行をマネジメントできるリーダーの養成が重要！
- 記録、支援計画立案、実施、評価のルーティン（PDCAサイクル）を回せる人

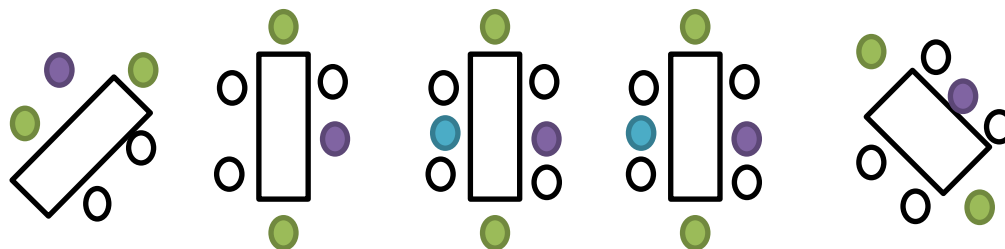


# アドバンス研修の特徴

1. 連続5回の事例検討会
2. 参加者は年間30名位
3. 1グループ3名にグループリーダー、インストラクター配置
4. ICTを活用したスーパーバイズ、コンサルテーション
5. 研修のミニ動画を期間つきで公開し、事業所内での伝達研修に活用
6. グループリーダー、インストラクターは本研修の卒業生
7. 事業所の施設長の研修参加が必須条件

インストラクター  
グループリーダー

講師

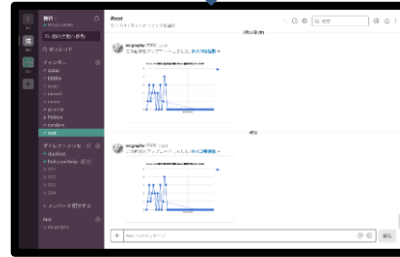


# 研修全体の情報提供



研修用 HP

# グループリーダーからの アドバイス ミニ講義の提供



SNS

ネット環境があれば  
パソコン・スマホ・タブレットで  
使える

Google Form

s011tokyo 行動観察シート

入力者のニックネームを記入してください\*

行動を具体的に記入してください\*

行動が生じた日にちを選んでください\*

行動が生じた時間を選んでください。\*

事業所での  
行動記録

ネット環境なしで記録できる  
アプリ  
Observations



# アプローチのポイント

## ① アセスメントの理解

- プロフィール(障害特性、コミュニケーションスキル、余暇スキル、行動の履歴)
- 行動上の問題に対するスクリーニングと全体把握のツール  
ABC-J,BPI-S
- 機能的アセスメント (Functional Assessment) の理解

## ② 機能分析に基づくアプローチの理解

- 環境調整
- 問題とされる行動に対する代替行動の獲得支援

## ③ チームアプローチの理解と実践 + ICT活用

- 各事業所でのマネジメント、事例ミーティング、行動記録、それに基づいた実践と成果の共有を行えるようにする

# 強度行動障害アドバンス研修とは

(主催：東京都社会福祉協議会)

① 各事業所において行動障害支援のマネジメントができるリーダーの養成が目的。

\* 1400万都市（日本人口の10%）「外味°り東京」における強行支援リーダーの育成と地区別相談支援体制の設立にむけて

②機能分析に基づくアプローチの理解

連続研修による「行動機能分析」のレクチャーと理解。Eビ°デンスに基づく支援°°グラム（計画・作成・実施・検証≡PDCAサイクル）の運用

\* 合理的配慮, 予防的支援 + 「行動機能分析」

③チームアプローチの理解と実践 + ICT活用

各事業所でのマネジメント、事例ミーティング、行動記録に基づいた実践と成果の共有を行えるようにする

\* 「知識, 技術」のみならず「活用」⇒コーディネイト力

\* 事業所内「共有」と「効率化」⇒会議設定やICT活用のあり方